

さくらんぼ



2018 JANUARY

NO. 52

「平成三十年を迎えて」

理事長 池ヶ谷 啓



日頃より、社会福祉法人焼津福祉会の事業運営に対しまして、深いご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

平成三十年の年頭にあたり、今後においても変わらぬ決意で事業運営に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層のご支援をお願い申し上げる次第であります。

さて、近年における社会福祉制度改革は関係する法人にとっては大きな影響があつたものと思われます。全国経営協においてもそれらを踏まえ、昨年の大会において福祉サービスの更なる向上を図り、以って地域共生社会の実現を主導するという大会宣言を採択しています。障害者自立支援法から、その後の障害者総合支援法への移行などもあり、福祉環境を取り巻く状況は、年々厳しさを増しており、円滑な事業運営に支障を来たすこともあります。

そのような状況下ではありますが、障害者が自立した社会生活を営むことができるようになること、また様々な人たちと、地域社会の中で、共生していくようになることは、法人のみならず、家族や保護者にとっても、変わらぬ願いであります。

焼津福社会では、そのような社会の実現に向け、利用者の皆様が、安心して生活できるように、また、通うことができるよう体制づくりを行っております。加えて、常に利用者の視点に立つて、個人の尊厳を重視した処遇による障害者支援に全力を注いでおります。そして、地域で愛される福祉施設を目指すとともに、円滑な事業運営による法人経営の健全化を目指し鋭意努力してまいる所存であります。

今後においても、皆様方の変わらぬ絶大なるご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつと致します。

秋

AUTUMN



ゆりかもめ

9月 日帰り旅行

9月29日に年に1度の日帰り旅行に行ってきました。今年度は、皆さんからのリクエストが多かった、気賀関所と直虎ドラマ館へ出掛けできました。天気も良く、バスの窓から眺める風景に皆さん釘付けでした。到着後は、気賀関所の抜け道を歩き、その先の直虎ドラマ館の見学をしました。会場内には、直虎のシアターや、撮影のセットが丁寧に再現されていました。「おんな城主直虎」は、静岡県の浜松にゆかりを持つ大河ドラマの為、皆、興味津々の様子でした。帰り道、浜松SAに寄り昼食を摂り、散策や、買い物をしたりと、それぞれ楽しい時間を過ごしました。

ゆたか

10月 音楽レクリエーション

ゆたかではこの秋から月1回、職員による音楽レクリエーションを始めました。音楽を皆で楽しもうという事で始まったこのレクリエーションは、ジャンルは問わず季節の歌・皆が盛り上がりそうな歌を選び行っています。また、ハンドベルなど楽器を使い合奏にも挑戦中です。時には笑いもあり楽しく音楽と触れ合っています。



虹の家

12月 大掃除

虹の家では、年末に、利用者さんとご家族、そして職員で施設全体の年末大掃除を行っています。昨年は、12月28日が終業日でした。利用者さんは、1年に1度のこの大掃除を楽しみにしている様子です。掃除終了後には、工賃(給料)支給と美味しいお弁当が待っているからでしょうか…？！

とっても寒い季節で、雑巾を絞ることや外に出ることも億劫になりがちですが、皆で協力をして、隅々まで綺麗にすることができました。新たな気持ちで、2018年を迎える、今年も、楽しく前向きに過ごしていきたいと思います。



冬

WINTER



たくさん思い出 ～2017 START!～

ぽぶら

1月 雪見遠足

1月27日(金)、ぐりんばに雪見遠足に行ってきました。子どもたちは、なかなか見ることができない雪に大興奮。雪だるまを作ったり、そりで雪の坂をすべったり、お弁当を食べたりして楽しい時間を過ごしました。特にそりすべりは、どの子どもたちも夢中になって遊んでいました。「まだやりたい！」「もう1回！」と何回もリクエスト…。お母さんやお父さんもヘトヘトになりながらも一緒に楽しんでくれていました。子どもたちの笑顔がたくさん見られた雪見遠足でした。



花・はな

4月 花見

4月、施設周辺に花見に出かけました。満開の桜が好きな方、花びらが散っている姿を見るのが好きな方等様々で、桜を見ながら思い出話にも花が咲きました。普段は室内での活動が中心ですが、外に出て季節感を肌で感じる良い機会になりました。皆、毎年この時期を楽しみにしています。



冬

WINTER



夏

SUMMER

色えんぴつ・くれよん

7月 プール遊び

子ども達の夏の一番のお楽しみはプールです。色えんぴつとくれよんにはそれぞれ、大きなプールがあります。みんなは水の中に潜ったり、友達同士で水のかけ合いっこをしたり、泳いだり…プール遊びを満喫しています。毎日プール遊びを楽しむ子ども達の楽しい笑い声と笑顔があふれています。



～2017 GOAL NEXT 2018～

すいせん

生活介護

夢のステージ

毎月一回音楽療法として、唄を歌うなど、様々な楽器を演奏していま音楽に触れ合う活動をしています。その取り組みの中で、毎年夏に静岡グランシップ大舞台での発表会に参加するために、初夏の頃より職員、利用者が一丸となって施設内で毎日練習をしました。真夏の暑い中、汗をいっぱいかきながらの練習はハードで辛い時もありましたが、今年も日々の練習の成果を大勢のお客さんの前で披露することができました。

皆さんの笑顔から楽しげが伝わってくると思える瞬間です。頑張つて良かったと思える瞬間です。



大井川寮

私たちの思い

大井川寮の取り組みの一つとして毎度、利用者さん参加による「自治会」を行っています。

これは、利用者さんの普段の生活や行事に関する思いや希望を汲み取る機会を持つことを目的に行っています。

毎回テーマを一つ決め、それについてみんなが意見を出し合います。11月は「畑に植えたい作物や花」というテーマで行ったところ、「トウモロコシ作りたいな!」「カボチャ育ててみたい!」「チューリップ!」などとたくさんの意見を聞くことが出来ました。その意見の中から、一つでも多くの希望を叶えることが出来るようにしていきます。

今後も自治会を通して、利用者さん一人ひとりの思いを知り、それを叶えることが出来るように大切な時間にしていきたいと思います。



就労 一歩ずつ

今年、就労継続支援すいせんでは、二名の利用者が夢でもある一般就労に向け実習を続けてきました。

すいせんで職員と一緒に挨拶の仕方や言葉使いの練習をして頑張っていました。

企業でも、指導員に丁寧に支援して頂き、大変な事もありましたが、無事に試用期間を経て本採用がきました。

「もっとお給料をもらえるようにならせて、すいせんを巣立ちます。



す ぴ か 地域での役割

すぴかには「一人暮らしをしたい」など夢や目標を持つている利用者さんがいます。一人暮らしには、地域住民との繋がりを持つこと、地域住民としての役割を担うことが必要となります。

すぴかでは地域住民の一員として、地域一斉清掃や防災訓練に積極的に参加をしています。地域活動を通して、地域の方々に顔を知つていただきたり、利用者さんが地域住民としての役割を担う良い機会となっています。



～ゆめにむかって～



第四回 施設紹介



次回は、色えんぴつくれよんです。お楽しみに!

慈恵園は、昭和27年に開設されました。昭和50年に三ヶ名に移転し、平成15年に現在の場所、ウエルシップの裏手に移転しました。焼津福祉会は、平成14年から焼津市より受託経営を始め、平成18年から指定管理を受けています。

現在男性14名、女性27名、計41名の65歳以上の利用者が暮らしています。利用者さんそれぞれの身体状況に合わせ、食事、入浴、余暇活動等を支援しています。また、利用者さ

んが健康で生き甲斐を持つて生活出来る様、季節に合わせた行事の実施、グループ別の日帰り旅行、様々なクラブ活動や講師を招いての教室を開催しています。仲間と共に過ごす楽しさや安らぎを持つて頂ける様、これからも利用者さんの声に耳を傾け、心と心で向き合う姿勢を大切に、温かい支援をしていきたいと思います。

ワークすばる

ワークすばるは、知的障がいの方の働く場として、就労移行支援・就労継続支援B型の事業を行っています。

現在は、就労継続支援B型事業に、42名の方が通い、作業活動に取り組んでいます。主な作業内

容は、焼津市内の企業様からいたたく下請け作業で、現在、13社の企業様より、仕事をいただいています。鰯節の袋入れや人参の皮剥き、贈答品の組み立て、金属部品の箱詰めなど、いろいろな作業に取り組んでいます。

次回は、色えんぴつくれよんです。お楽しみに。

毎月支給される工賃を励みに毎日仕事に取り組んでいます。

作業活動以外には、クラブ活動やグループ別外出体験等余暇活動にも取り組み、余暇と仕事のバランスを大事にしています。



「焼津福祉会を支える会」だより

「支える会」にご理解とご協力を

「焼津福祉会を支える会」

会長 内田 一善

平成三十年の新春にあたり、本年が皆様にとって良き年でありますことを念願いたします。

私たち「焼津福祉会を支える会」は、焼津福祉会の事業及び運営に理解と関心を持つ皆様により、後援活動を行っている会であります。

「支える会」では、毎年度、会費のうちの一定額を焼津福祉会へ寄附し、利用者の支援に役立てていただきほか、年2回、機関紙「さぼーと」を発行しております。

なお、入会につきましては、皆様方のご意思によりまして、随時ご入会をいただいております。是非、継続してのご入会をお願い申し上げます。

平成三十年一月

障がい者施設を取り巻く環境は、年々厳しさを増してきており、これからも支援の手がますます必要になっていくものと思われます。

障がい者が自立して共生できれば、年々厳しさを増してきており、これからも支援の手がますます必要になっていくものと思われます。



第25回焼津福祉会作品展のお知らせ

施設利用者さんの素敵な作品をより多くの皆さんに見て頂きたいと思います。是非、ご来場下さい!お待ちしております。

日 時 平成30年2月15日から18日
住 所 烧津市本町5-1-18
内 容 絵画・書・手工芸 など

場 所 ふれあいギャラリー
時 間 午前9時から午後5時まで（最終日は午後3時まで）
連絡先 虹の家（TEL：629-5712）



◆編集後記◆

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

今回のさぼーと52号では去年1年を振り返ってみました。皆様も様々な出来事が思い浮かんできたのではと思います。

今年2月には平昌冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。選手の方々から勇気や希望をもらい、素敵なお年になる事を願います。